



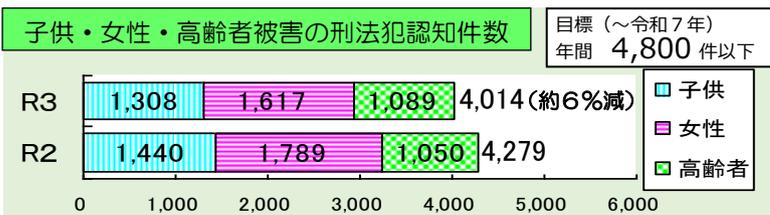
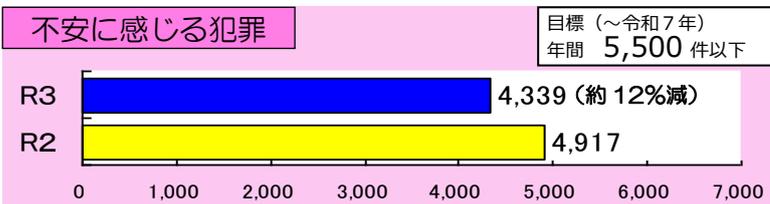
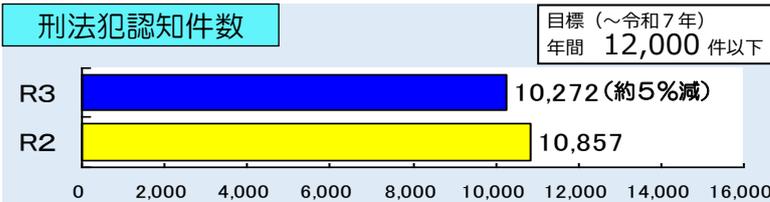
減らそう犯罪 通信

令和3年12月号

発行・編集

広島県警察本部
生活安全総務課
〒730-8507
広島市中区基町9-42
TEL 082(228)0110
FAX 082(228)1109

統計 広島県内の犯罪の発生状況 令和3年1月～11月



特殊詐欺の被害状況（オレオレ詐欺・架空料金請求詐欺など）

区分	認知件数		被害額	
	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比
特殊詐欺	188件	+60件	約4億6,132万円	+約2億3,682万円

目標（～R7）年間 2 億円以下

※「不安に感じる犯罪」とは、自転車盗、車上ねらい、器物損壊等、侵入強盗、侵入窃盗、住居侵入、強制的性交等、強制わいせつの8罪種です。



「年末犯罪抑止活動」

安全・安心な年末年始を迎えるため、空き巣や忍込み等の侵入窃盗やオレオレ詐欺や還付金詐欺等の特殊詐欺対策に加え、ひったくりや路上強盗、痴漢等の街頭で発生する犯罪にも注意が必要です。

県警では、年末に向けて、金融機関等への立ち寄り警戒、通学路等における子供の安全確保、防犯ボランティアや自治体等と連携した防犯活動の推進等の各種街頭活動の強化に取り組んでいます。

皆さんも自分でできる防犯対策を講じて、各種犯罪を未然に防ぎましょう。

～街頭犯罪から身を守るために～

- 夜間の外出は極力控える。
- 街灯等のある明るい通りや大通りを通行する。
- 時々後ろを振り返り、周りを確認する。
- 歩道は車道側から離れて歩く。
- 一人ではなく、複数人で行動する。
- 歩きスマホをしない。

がんばれ！ まちの 防犯 ボランティア



【大竹】特定非営利活動法人ハローの仲間

特定非営利活動法人ハローの仲間は、平成14年に発足し、約40名の会員で活動し、主な活動は、夜間パトロールや登下校の見守り活動などを行っています。

このほかにも、横断幕やのぼり旗を学校へ寄贈、夜間における犯罪の防止や青少年の非行防止などの目的で、年末にイルミネーションを設置しています。



【三次】三次市消防団

三次市消防団は、8方面隊39分団1,487名の団員が所属し、火災現場の消火活動や自然災害時の応急対応・避難誘導などを主な任務としています。

また、大規模イベントでの交通整理、行方不明者の捜索活動にも従事するなど、「自分たちのまち自分たちで守る」という信念のもと、各方面で活躍しています。



減らそう犯罪 トピックス

流川・薬研堀地区環境浄化活動激励及び視察の実施

12月1日、年末における犯罪抑止活動期間に合わせ、県知事、広島市長、広島県公安委員会委員長、県警本部長などが、中国・四国最大の歓楽街である流川・薬研堀地区（広島市中区）で、「広島市中央部・快適な街づくり協議会」が取り組む環境浄化活動の激励・視察を行いました。中央新天地集会所で出発式を行った後、街づくり協議会の案内で中央通りや流川通りなどを視察しながら、環境浄化活動の取組について説明を受けました。



第20回「減らそう犯罪」推進会議の開催

11月30日、県庁東館大会議室で、委員28名出席のもと、第20回広島県「減らそう犯罪」推進会議が開催されました。会議では、警察本部から広島県内の犯罪情勢について説明後、本年からスタートした「減らそう犯罪」第5期ひろしまアクション・プランの進捗状況や来年の取組方向などについて活発な意見交換がされました。



令和4年における基本的な取組方向

1 特殊詐欺被害の抑止

- 多様な主体による特殊詐欺被害の抑止対策の推進

2 子供・女性・高齢者等の安全確保

- 事業者による「ながら見守り」の推進など防犯CSR活動の推進
- 地域ぐるみで子供・女性・高齢者等を犯罪から守る環境の構築と取組の強化

3 不安に感じる犯罪の抑止

- 不安に感じる犯罪に関する効果的な情報発信
- ガイドラインに基づく防犯カメラの設置促進

4 インターネット利用犯罪被害の防止

- サイバー犯罪への抵抗力の強化
- スマートフォン等のフィルタリングの利用促進

主な意見

※会議資料や発言資料は、後日、県警ホームページに掲載します。

加賀山委員（福山大学学生）



学生ボランティア団体P A C E福山で、子供が犯罪被害に遭わないよう、子供たち自身の地域安全マップづくりを支援している。支援活動を通じて子供たちに防犯意識やまちづくりの大切さを学んでもらいたい。今後も活動を積極的に進め、犯罪の抑制に貢献したい。

香取委員（広島県コンビニエンスストア防犯連絡協議会会長）



コンビニエンスストアは、時には防災等の拠点として、防犯面では、少しでも不審に思えば迷わず声掛けをするなど、特殊詐欺被害の防止に取り組むとともに、駆け込みや保護をするステーションとして地域貢献をしている。引き続き、取組強化を行ってまいりたい。

相原委員（広島大学副学長（情報・IR担当）・教授）



高度化・巧妙化するサイバー犯罪について、被害に遭わないための取組を引き続き推進していく必要がある。一方で、インターネットの利用は、使い方によって自分自身が意図せず、逆に誹謗中傷の加害者となる可能性もあることから、今後注意喚起が必要である。



「減らそう犯罪」 第5期ひろしまアクション・プラン

令和3(2021)年～令和7(2025)年



犯罪発生マップ

あなたのまちの犯罪発生状況が
マップで分かる！



運動目標

住む人 来る人 誰もが
日本一の安全安心を実感できる広島県の実現

重点項目

- 不安に感じる犯罪の抑止
- 子供・女性・高齢者等の安全確保
- 特殊詐欺被害の抑止
- インターネット利用犯罪被害の防止

